

令和 6 年度

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

専門学校コンピュータ教育学院

令和 6 年度、専門学校コンピュータ教育学院の

学校関係者評価の結果を下記のとおり実施・報告をいたします。

記

1. 実施期間 令和 7 年 5 月 9 日 ～ 令和 7 年 5 月 13 日

2. 実施方法 書面会議にて実施

3. 自己評価委員

区 分	学校関係者委員会		出欠状況
企業委員	園田 直	日本電算システム株式会社 常務取締役 / 委員長	○
企業委員	三宅 崇之	日本電算システム株式会社 担当部長	○
企業委員	久原 四郎	日本電算システム株式会社 チーフエンジニア	○
卒業者	渡邊 実佐	専門学校コンピュータ教育学院 平成 7 年 3 月卒業者	○

学院側 最終審議者

松谷 敏樹 専門学校コンピュータ教育学院/専門学校コンピュータ教育学院メディアコミュニケーション 学院長
佐藤 義行 学校法人 渡邊学園 事務局長

4. 学校関係者評価の目的と基本方針(別紙)

1) 目的

関係業界、卒業者、保護者などの学校関係者が専門学校コンピュータ教育学院の自己点検・評価結果を評定することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を受け学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関連評価は、自己評価報告書を基に「専修学校ガイドライン」に則って実施することを基本とする。

5. 学校関係者委員会の実施方法

学校関係者委員の皆様は、自己評価点の結果をお知らせし、その結果に対して妥当であるか、意見や助言をいただく。

6. 学校関係者委員による各項目の達成及び取組状況の評価(別紙)

なお、評価内容については

- 1) 自己評価内容が適切か
- 2) 改善策は妥当か
- 3) 取組（現状）は適切か

を大項目について5段階で評価する。

【改善点無・適切：5 適切：4 (ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1】

また、コメントとしてご意見・助言等を記載。

6. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目的・人材育成像

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者評価点
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	5	4
2	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか。	4	
3	特色ある職業教育が行われているか。	5	
4	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を描けているのか。 各学科の教育目標、人材育成像は対応する業界ニーズに向けて方向付けされているか。	4	
学校関係者委員会コメント			
● 学校の理念・目的・育成人材像はHPやパンフレット等に明確に定められており、適正に行われていると評価できる。 ● 「職業実践専門課程」の認定を受けた2学科を含め、学校全体の持っている魅力などを十分に発揮し、今後も認定継続に必要なとされる要件以上の対応により底上げを図って欲しい。 ● 従来型のプログラマーの需要が減少すると言われており、当学院の現在実施している教育で育成できるプログラマーは将来的に不足する。社会ニーズに完全にマッチしていることを勘案し、内外的なアピールを実施し、日本全体のニーズに応えるよう努力継続して欲しい。			

(2) 学校運営

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者 評価点
1	目的等に沿った運営、運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	5	5
2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、有効に機能しているか。	5	
3	人事、給与に関する規定は整備されているか。	5	
4	教務・財務等の組織整備等、意思決定システムは整備されているか。	4	
5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	5	
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	
学校関係者コメント			
●学校運営に関しては長年の運用の中で必要の都度、改善され適正であると思われる。 ●情報システムの有効活用を図り、効率化しなければならないが、アクセス制限等セキュリティ面には一層留意して欲しい。 ●当然とか考えられている「規程」「コンプライアンス」「情報公開」等、新たな法令等の対応は怠らないよう実施して欲しい。			

(3) 教育活動

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者 評価点
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。 教育理念、育成人材贈答を踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は適性か。 カリキュラムは体系的に編成されているか。	5	4
2	キャリア教育・実践的な職業教育等の視点に立つたカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか。 関連分野の企業・関連施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	5	
3	授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	
4	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	5	
5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	5	
6	資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか。	5	
7	人材育成目標の達成に向けた授業を行える要件を有した教員を関連業界等との連携により確保しているか。	5	
8	関連分野における先端的な知識・技能を習得するための研修や、教員の指導力の育成等、資質向上の取組が行われているか。	4	
9	職員の能力開発の為に研修等が行われているか。	4	
学校関係者コメント			
●カリキュラムは外部委員としてITベンチャー企業の代表3名が参画し「教育課程編成委員会」における編成検討で実践的で業界最新ニーズへの対応できるものと期待している。 ●教員の研修についてはオンライン研修も増えており、オンラインの利点として開催場所まで行く必要が無いので遠方での開催でも参加しやすい。今後も積極的に利用し、充実したものとされたい。 ●各種の資格検定では、国家資格もさることながら、ベンダー資格（Java等）取得も企業の採用判断基準となっており重要である。 ●教員研修も外部研修等を取り入れて「最新」且つ「最先端」技術の教育を実施することを期待する。 ●現在のニーズを鑑みると「授業の評価」は授業技術の向上に必要なツールであり「アンケートの実施」が出来る体制は整えていると聞かすがその実施回数等意義あるものとして欲しいと考える。			

(4) 学修成果

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者 評価点
1	就職率向上が図られているか。	5	4
2	資格取得率向上が図られているか。	4	
3	退学率低減が図られているか。	4	
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3	
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	
学校関係者コメント			
●向上率がわかりやすくなるよう今後5年間の対比表を作成して欲しい。 ●就職に関しては今年はコロナ禍の影響でオンライン説明会を行っている企業が急増している。自分で調べ積極的に参加するよう促すようにしてはどうか。遠方の企業でも参加しやすく質問等もチャット形式なので、こういった企業があるのかわかるだけでも意味がある。本年度は厳しい状況であるかもしれないが100%を目指して頑張って欲しい。 ●退学に関してはカウンセリングや転科などで生徒のことを一番に考えて卒業までフォローをして欲しい。			

- 4の生徒（卒業生）の社会的活躍の評価の把握については、システム等の導入が必要不可欠と考えるので、新システム導入を大いに期待したい。

（５）学生支援

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者 評価点
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか。	5	
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	5	
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	
6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。	5	
7	保護者と適切に連携しているか。	5	
8	卒業生への支援体制はあるか。	4	
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	5	
10	高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	
11	業界との連携による卒業後の再教育プログラム等が行われているか。	4	
学校関係者コメント			
●学生支援に対して、生活指導（健康管理・アルバイト・学生寮運営等）・経済的支援（学院独自の奨学金制度等）が充実し 適正であると思われる。卒業生への支援体制も求められており、C K G O B・OGのネットワーク拡大に向けて、ホームページ の「同窓会について」の活用・機能充実を期待する。 ●就職した既卒生の就業状況についても、今後のカリキュラム編成の参考の為には入手努力が必要と思われる。 ●コロナウイルスの再感染拡大等に対応した支援を実施して欲しい。 ●当学院の魅力としての「教員」「カウンセラー」一体となった連携体制は時代にもマッチした取組であると考え、 強化をして学生ならびに保護者の満足度向上に努めて欲しい。			

（６）教育環境

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者 評価点
1	施設・設備は必要十分に整備されているか。	5	4
2	学内外の実習施設、インターンシップの場等について十分な教育体制を整備しているか。	4	
3	防災に対する設備・体制は整備されているか。	4	
学校関係者コメント			
●ネットワーク、パソコンの配置等また新しい設備導入計画を聞くと適正であると思われる。 ●突発的に発生する災害に対応する「備蓄品」等の強化配置を検討する必要がある。 毎年、何十年に一度の災害といわれるものが発生しており、遠方から通学している学生、一人暮らししている学生等を			

持つ保護者の安心も必要ではないかと考える。

- インターンシップの実施も増加傾向である。キャリアサポートの面からも更なる充実が必要である。

(7) 学生の受入募集

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者 評価点
1	高校等募集対象機関に対する資格取得・就職状況等の情報提供の取り組みを行っているか。	5	5
2	学生募集活動は適正に行われているか。	5	
3	入学選考は適性かつ公平な基準で実施されているか。	5	
4	学納金は妥当なものとなっているか。	5	
学校関係者コメント			
●情報提供に関しては、学校運営の殆どをホームページに公開しており適正であると思われる。 ●高等教育の無償化に対する知識も備えており、学生に親密な対応ができています			

(8) 財務

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者 評価点
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	5	5
2	予算・収支計画は有効性かつ妥当なものか。	5	
3	財務について会計監査が適正に行われているか。	5	
4	財務情報公開の体制は整備されているか。	5	
学校関係者コメント			
●学院の財務内容は健全に推移しており、状況もホームページで公開し、適正なものである。			

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者 評価点
1	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	5	5
2	個人情報に関し、その保護対策がとられているか。	4	
3	自己評価の実施と、問題点の改善を行っているか。	4	
4	自己評価結果を公開しているか。	5	
3			
●個人情報をはじめ、各種の情報管理と学校関連法遵守は、今後ますます重要視される。IT関連の専門教育機関として、規程等の整備・教職員への情報管理教育は適正に行われていると思う。 ●本自己評価を意義あるもの都市、作成しているだけに留まらないよう「教職員」全体が意識した組織とし、より良い地域に根差した教育機関となるべきである。			

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者 評価点
1	学生の教育し原野施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	5	4
2	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	3	
学校関係者コメント			
●現在まで、地道に地域社会に貢献してきていると思われるが、最新 I T の教育機関ならではの行事等多岐にわたり 地域社会に貢献の検討もグループ全体で取組む必要がある。 ●アフターコロナにおいて学生のみでなく、地域住民への貢献を出来るよう常に世間の情勢を把握するべきである。 ●校舎の近隣を清掃する活動も継続できており地域貢献は今後も必要			

(11) 国際交流

評 価 項 目		自己評価点	学校関係者 評価点
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか。	4	4
2	受入れ・派遣・在籍管理等において適切な手続きがとられているか。	5	
3	留学生の学修・生活指導等について学内の適切な体制が整備されているか。	5	
4	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか。	4	
学校関係者コメント			
●多くの東南アジアの留学生を継続して受け入れており、入管事務が増加していると思われるが、交流のノウハウ（入管対応、生活指導等）蓄積により、今後一層のグローバル化にも対応して欲しい。 ●アフターコロナとなったが、留学生については、いまだ生活環境等厳しいので状況把握に努めて欲しい。 生活指導において、よくヒアリングし悩みなどを引き出し出来るだけ解消をはかって欲しい。			